

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号
特許第4909802号
(P4909802)

(45) 発行日 平成24年4月4日(2012.4.4)

(24) 登録日 平成24年1月20日(2012.1.20)

(51) Int.Cl.

A 4 7 F 5/10 (2006.01)

F 1

A 4 7 F 5/10 A

請求項の数 3 (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2007-128547 (P2007-128547)	(73) 特許権者	000222347
(22) 出願日	平成19年5月14日 (2007.5.14)		タテヤマアドバンス株式会社
(65) 公開番号	特開2008-279211 (P2008-279211A)		富山県高岡市早川70番地
(43) 公開日	平成20年11月20日 (2008.11.20)	(74) 代理人	100090206
審査請求日	平成21年11月24日 (2009.11.24)		弁理士 宮田 信道
		(72) 発明者	伊達道 成保
			富山県高岡市早川70番地 タテヤマアドバンス株式会社内
		審査官	平城 俊雅

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 陳列棚

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

端部支柱と側面板とステージ用ブラケットとステージ前板とパラペット用ブラケットとパラペットとを備え、端部支柱は、その前面に被係止部が設けてあり、前方に突出する脚部を下部に有しており、側面板は、側面にネジ止部を有し、後側端面を端部支柱の前面に当接していると共に下端を脚部の上面に載置しており、ステージ用ブラケットは、端部支柱の下方の被係止部に係止して前方に突出するものであり、ステージ前板は、ステージ用ブラケット側の端部に後方に突出するネジ止部を有しており、パラペット用ブラケットは、端部支柱の上方の被係止部に係止して前方に突出するものであり、パラペットは、パラペット用ブラケット側の端部に後方に突出するネジ止部を有しており、ステージ用ブラケットを挟んで隣接する側面板のネジ止部とステージ前板のネジ止部とをステージ用ブラケットを貫通した左右方向のネジにより共締めするとともに、パラペット用ブラケットを挟んで隣接する側面板のネジ止部とパラペットのネジ止部をパラペット用ブラケットを貫通した左右方向のネジにより共締めしたことを特徴とする陳列棚。

【請求項2】

左右の端部支柱間に配置する中間支柱とステージ用ブラケットと左右のステージ前板とを備え、中間支柱は、その前面に被係止部が設けてあり、ステージ用ブラケットは、中間支柱の下方の被係止部に係止して前方に突出しており、左右のステージ前板は、ステージ用ブラケット側の端部に後方に突出するネジ止部を有しており、ステージ用ブラケットを挟んで隣接する左右のステージ前板のネジ止部をステージ用ブラケットを貫通する左右方

向のネジにより共締めしたことを特徴とする陳列棚。

【請求項 3】

左右の端部支柱間に配置する中間支柱とパラペット用ブラケットと左右のパラペットとを備え、中間支柱は、その前面に被係止部が設けてあり、パラペット用ブラケットは、中間支柱の上方の被係止部に係止して前方に突出するものであり、左右のパラペットは、パラペット用ブラケット側の端部に後方に突出するネジ止部を有しており、パラペット用ブラケットを挟んで隣接する左右のパラペットのネジ止部をパラペット用ブラケットを貫通する左右方向のネジにより共締めしたことを特徴とする陳列棚。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本発明は、ドラッグストアやスーパーマーケットなどで商品を陳列するための陳列棚に関するものである。

【背景技術】

【0002】

例えばスーパーマーケットやドラッグストアに置かれる商品の陳列棚は、図3(a)に示すように、左右両側に立設する脚付きの端部支柱40、40の間、あるいは端部支柱40と中間支柱41との間に、ステージ前板42やパラペット45を略水平方向に左右に配設し、ステージ前板42やパラペット45は、端部支柱40あるいは中間支柱41に係止したブラケット43、44でそれぞれ支持するものであった。ところがステージ前板42やパラペット45の配設には、通常、ステージ前板42やパラペット45の左右両端部を端部支柱40や中間支柱41に設けてあるスリット48に二つのブラケット43、44で各々支持しており、このことからブラケット43、44の使用点数の増加が避けられなかった。そしてステージ前板42やパラペット45を複数並列させる比較的幅の広い陳列棚では、図3(b)のように、ここではステージ前板42のみについて示すが、二つのブラケット43、43が隣接して幅をとり、これにより左右のステージ前板42の間に隙間が生じてしまうことで、隙間中の違いや左右のステージ前板42の配列にバラつきができ、客目に触れる場所に置かれる陳列棚の意匠性を損ねるものであった。パラペット45においても同様である。また図3(c)のように、端部支柱40には側面板49が上記ブラケット43、44とは異なる別の固定具46a、46bで支持してあり、この点についても部品点数の増加と隙間の発生による陳列棚の意匠性を損ねる要因になっている。尚、符号47は、背面板である。

20

30

【特許文献1】特開平10-272022

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

本発明は以上に述べたような実情に鑑み、部品点数を抑えるとともに、組み立てが容易であり且つ好適な意匠性を有する陳列棚を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0004】

40

本発明のうち請求項1記載の発明は、端部支柱と側面板とステージ用ブラケットとステージ前板とパラペット用ブラケットとパラペットとを備え、端部支柱は、その前面に被係止部が設けてあり、前方に突出する脚部を下部に有しており、側面板は、側面にネジ止部を有し、後側端面を端部支柱の前面に当接していると共に下端を脚部の上面に載置しており、ステージ用ブラケットは、端部支柱の下方の被係止部に係止して前方に突出するものであり、ステージ前板は、ステージ用ブラケット側の端部に後方に突出するネジ止部を有しており、パラペット用ブラケットは、端部支柱の上方の被係止部に係止して前方に突出するものであり、パラペットは、パラペット用ブラケット側の端部に後方に突出するネジ止部を有しており、ステージ用ブラケットを挟んで隣接する側面板のネジ止部とステージ前板のネジ止部とをステージ用ブラケットを貫通した左右方向のネジにより共締めすると

50

ともに、パラペット用ブラケットを挟んで隣接する側面板のネジ止部とパラペットのネジ止部をパラペット用ブラケットを貫通した左右方向のネジにより共締めしたことを特徴とする。

【0005】

本発明のうち請求項2記載の発明は、左右の端部支柱間に配置する中間支柱とステージ用ブラケットと左右のステージ前板とを備え、中間支柱は、その前面に被係止部が設けてあり、ステージ用ブラケットは、中間支柱の下方の被係止部に係止して前方に突出しており、左右のステージ前板は、ステージ用ブラケット側の端部に後方に突出するネジ止部を有して、ステージ用ブラケットを挟んで隣接する左右のステージ前板のネジ止部をステージ用ブラケットを貫通する左右方向のネジにより共締めしたことを特徴とする。

10

【0006】

本発明のうち請求項3記載の発明では、左右の端部支柱間に配置する中間支柱とパラペット用ブラケットと左右のパラペットとを備え、中間支柱は、その前面に被係止部が設けてあり、パラペット用ブラケットは、中間支柱の上方の被係止部に係止して前方に突出するものであり、左右のパラペットは、パラペット用ブラケット側の端部に後方に突出するネジ止部を有して、パラペット用ブラケットを挟んで隣接する左右のパラペットのネジ止部をパラペット用ブラケットを貫通する左右方向のネジにより共締めしたことを特徴とする。

【発明の効果】

【0007】

20

本発明によれば、ブラケットを挟んで側面板とステージ前板やパラペット前板をネジで共締めすることで、一つのブラケットで両者を固定することができ、これにより部品点数を抑えることができ、組み立ても容易となる。左右のステージ前板やパラペット、またはそれらと側面板との間に隙間の巾違いやズレが生じず、好適な意匠性を有する陳列棚を提供できる。

【0008】

本発明のうち請求項2の発明によれば、一つのステージ用ブラケットを挟んでネジで共締めすることでブラケット数を抑えることができ、また左右のステージ前板の配列がバラつかずに一定の目地巾となり意匠性がよい。

【0009】

30

本発明のうち請求項3記載の発明によれば、一つのパラペット用ブラケットを挟んでネジで共締めすることでブラケット数を抑えることができ、また左右のパラペットの配列がバラつかずに一定の目地巾となり意匠性がよい。

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

以下、本発明の陳列棚の実施形態を図面に基づいて説明する。

図1(a)は、本発明の陳列棚の分解斜視図であり、図1(b)は、本陳列棚の完成状態を示す斜視図であり、図2(a)は、左右のパラペット11, 11とパラペット用ブラケット13とを共締めした状態を示す横断面図であり、図2(b)は、左右のステージ前板5, 5とステージ用ブラケット7とを共締めした状態を示す横断面図であり、図2(c)は、側面板9とステージ前板5とステージ用ブラケット7とを共締めした状態を示す横断面図である。

40

【0011】

本発明の陳列棚は、図1(a)(b)のように、端部支柱1と、端部支柱1の下部に配したステージ前板5, 5およびステージ棚板8と、端部支柱1の上部に配したパラペット11, 11と、左右の端部支柱1, 1間に配置する中間支柱2と、ステージ用ブラケット7と、パラペット用ブラケット13と、側面板9とからなっている。ステージ用ブラケット7は、端部支柱1および中間支柱2の下方に係止してあり、中間支柱2に係止してあるステージ用ブラケット7を挟んで左右のステージ前板5, 5を水平に配してあるとともに、端部支柱1の下方に係止してあるステージ用ブラケット7を挟み、側面板9とステージ

50

前板 5 とが各々左右に配してある。そしてパラペット用ブラケット 1 3 は、端部支柱 1 と中間支柱 2 の上方に係止してあり、中間支柱 2 に係止してあるパラペット用ブラケット 1 3 を挟んで左右のパラペット 1 1, 1 1 を水平に配してあるとともに、端部支柱 1 の上方に係止してあるパラペット用ブラケット 1 3 を挟み、上記の側面板 9 とパラペット 1 1 とが各々左右に配してある。端部支柱 1 は、略垂直に起立する支柱本体 1 a と支柱本体 1 a の下端から前方に突出した脚部 1 b とからなっており、側面視して全体が略 L 字形をなすものである。支柱本体 1 a は、前面にスリット（被係止部）3 を上下に複数設けており、スリット（被係止部）3 は、端部支柱 1 の前面にて上下の複数箇所にて一列に配置してある。脚部 1 b は、床面に接地する下駄部 4 を下端部に設けてある。中間支柱 2 は、端部支柱 1 と略同一の構成をなすものであり、支柱本体 2 a と脚部 2 b とスリット（被係止部）3 と下駄部 4 を有するものである。端部支柱 1 と中間支柱 2 との間には背面板 1 4 が配してあり、背面板 1 4 は、ステージ柵板 8 およびパラペット 1 1 の背面側を遮っており、左右の端部支柱 1, 1 および中間支柱 2 の間の上下に各々配設した支持棧により支持してある。

10

【0012】

ステージ前板 5 およびステージ柵板 8 は、ステージ柵板 8 が左右に略水平に配置してあり、ステージ前板 5 は、ステージ柵板 8 の前方端部から略垂直下向きに配置している。ステージ柵板 8 とステージ前板 5 の四方の端縁は各々が略直角に折り返えしてあり、このうちのステージ前板 5 のステージ用ブラケット 7 側の左右の端縁は、後方の端部支柱 1 あるいは中間支柱 2 に向かって突出してネジ止部 6 を形成しており、左右のネジ止部 6 には水平方向左右に貫通したネジ通し孔 2 3 が貫通している。ステージ前板 5 は、支柱本体 1 a の前面の下方のスリット（被係止部）3 に係止したステージ用ブラケット 7 に取り付ける。ステージ用ブラケット 7 は、図 1（a）を正面視したときに、肉厚の薄い垂直な板状をなすとともに、図 1（a）を側面視したときには、ステージ柵板 8 を安定して設置できる水平部 7 a と、水平部 7 a の前方端部から下向きに略直角に曲がる垂下部 7 b とからなる略 L 字型をなすものである。さらにステージ用ブラケット 7 は、支柱本体 1 a の前面のスリット（被係止部）3 に係止する係止部 2 5 を後方端部に有しており、垂下部 7 b の上方と下方の二箇所には、ステージ用ブラケット 7 を水平方向に貫通するネジ通し孔 1 8 を各々設けてある。そして左右のステージ前板 5, 5 とステージ用ブラケット 7 との取り付けは図 2（b）のように、ステージ用ブラケット 7 の左側端面のネジ通し孔 1 8 のある箇所に対し、ステージ前板 5 のネジ止部 6 に設けてあるネジ通し孔 2 3 が一致するように当接すると共に、ステージ用ブラケット 7 の右側端面（他方側端面）のネジ通し孔 1 8 のある箇所に対し、ステージ前板 5 のネジ止部 6 に設けてあるネジ通し孔 2 3 が一致するように当接する。そして、ステージ用ブラケット 7 のネジ通し孔 1 8 と左右のステージ前板 5 のネジ通し孔 2 3 にネジ 1 6 a を連通し、さらにネジ 1 6 a をナット 1 6 b で締結して、ステージ用ブラケット 7 と左右のステージ前板 5 とを共締めする。以上のように形成することにより、ステージ用ブラケット 7 とステージ前板 5, 5 とを中間支柱 2 に取り付ける。

20

30

【0013】

パラペット 1 1, 1 1 は、端部支柱 1 あるいは中間支柱 2 の前面から前方に略水平に突出するパラペット水平部 1 1 a と、パラペット水平部 1 1 a の突出側端縁から上向きに突出するパラペット前板部 1 1 b とから断面略 L 字型状をなすものである。またパラペット前板部 1 1 b およびパラペット水平部 1 1 a の左右両側の側端縁は略直角に折り返し、パラペット前板部 1 1 b の側端縁は、後方の端部支柱 1 あるいは中間支柱 2 に向かって突出してネジ止部 1 2 を各々設けており、ネジ止部 1 2 には水平方向に貫通するネジ通し孔 2 4 を設けてあり、支柱本体 1 a の下方のスリット（被係止部）3 に係止したパラペット用ブラケット 1 3 により支持している。パラペット用ブラケット 1 3 は、図 1（a）を正面視したときに、肉厚の薄い略垂直な板状をなすとともに、図 1（a）を側面視したときには、水平片 1 3 a と、水平片 1 3 a の前方端部から上向きに直角に曲がる垂直片 1 3 b とから略 L 字型をなすものである。さらにパラペット用ブラケット 1 3 は、支柱本体 1 a の被係止部 3 に係止する係止部 2 7 を後方端部に有しており、垂直片 1 3 b には、パラペッ

40

50

ト用ブラケット13を水平方向左右に貫通するネジ通し孔18を設けてある。次に、左右のパラペット前板部11b, 11bとパラペット用ブラケット13との取り付けは図2(a)のように、パラペット用ブラケット13の左側端面(一方側端面)のネジ通し孔18のある箇所に対し、左側(一方側)のパラペット前板部11bのネジ止部12に設けてあるネジ通し孔24が一致するように当接すると共に、パラペット用ブラケット13の右側端面(他方側端面)の両ネジ通し孔18のある箇所に対し、パラペット前板部11bのネジ止部12に設けてあるネジ通し孔24が一致するように当接する。そして、パラペット用ブラケット13のネジ通し孔18と左右のパラペット前板部11b, 11bの各々のネジ通し孔24, 24とにネジ16aを挿通し、さらにネジ16aをナット16bで締結して、パラペット用ブラケット13と左右のパラペット前板部11b, 11bとを共締めする。尚、本実施形態では、パラペット水平部11aの後方寄りの箇所においてもネジ止部12とネジ通し孔18を設けてあり、パラペット前板部11bと同様に、パラペット用ブラケット13の水平片13aに設けたネジ通し孔24と共にネジ16aを通し、さらにネジ16aをナット16bで締結して、パラペット用ブラケット13と左右のパラペット水平部11a, 11aとを共締めしている。以上のように形成することにより、パラペット用ブラケット13と左右のパラペット11, 11とを中間支柱2に取り付けられる。

10

【0014】

側面板9は、図1(a)のように、平面視して断面略コ字形をなす側面板本体9aと、側面板本体9aの外側端面に係合する平板状をなすカバー9bとからなっており、このうち側面板本体9aは、ステージ前板5, 5およびパラペット11の側面と対向する側に、左右に水平方向に貫通するネジ通し孔17を有するネジ止部10を設けてあり、カバー9bとを係合すると略方形筒型に組み立てられる。また側面板9は、後側端面が端部支柱1の支柱本体1aの前面に当接するとともに、下端を端部支柱1の脚部1bの上面に各々載置してある。そして側面板9と、ステージ用ブラケット7およびパラペット用ブラケット13と、ステージ前板5およびパラペット11との取り付けは、ここではステージ前板5およびステージ用ブラケット7との取り付けについてのみ説明すると図2(c)のように、側面板9のネジ止部10をステージ用ブラケット7の左側端面(一方側端面)に当接し、ステージ前板5をステージ用ブラケット7の右側端面(他方側端面)に当接する。このとき、側面板9のネジ止部10のネジ通し孔17と、ステージ用ブラケット7のネジ通し孔18とステージ前板5のネジ通し孔23とを一致させて連通すると共に、各々にネジ16aを挿通し、さらにネジ16aにナット16bを締結して各々を共締めする。同様に、パラペット用ブラケット13を貫通したネジ16aにてパラペット11と側面板9のネジ止部10を共締めする。このように形成すると、ステージ用ブラケット7およびパラペット用ブラケット13を挟んで側面板9とステージ前板5およびパラペット11とを端部支柱1に取り付けられる。

20

30

以上のように各部を共締めすることにより、図1(b)のような陳列棚が完成する。

【0015】

端部支柱1および中間支柱2の前面に設けたスリット(被係止部)3は、本実施のものでは縦に長い長孔を上下に一例に示しているが、ステージ用ブラケット7およびパラペット用ブラケット13に係止できるものであればよく、さらに数についても例えば左右に二列以上あってもよい。ステージ用ブラケット7およびパラペット用ブラケット13は、どちらも略L字型をなすものについて示しているが、ステージ前板5やパラペット11の形状に対応してその形態は適宜変更するものである。パラペット11は、いずれかに外部に開放した箇所を有しており、その開放した箇所から手を入れて他のパラペット11や側面板9を共締めできる形態であればよく、本実施のものでは、パラペット前板部11bがパラペット水平部11aの前方端部から上方に突出した略L字型をなすものについて示しているが、例えばパラペット前板部11bがパラペット水平部11aから下向きに突出するものや、あるいは略コ字型をなすもの、またパラペット前板部11bのみのものであってもよい。棚板28は図示は省くが棚板ブラケットの上に載せてある。側面板9は、本実施形態では方形筒型をなすものを示したが、端部支柱1の前方に配したパラ

40

50

ペット 11、ステージ前板 5 の側端を覆うものであれば、例えば平面視して筒型凹状をなすものであってもよいし、あるいは側面視して前方に凹凸があるものでもよい。

【図面の簡単な説明】

【0016】

【図1】図1(a)は、本発明の陳列棚の分解斜視図であり、図1(b)は、本陳列棚の完成した斜視図である。

【図2】図2(a)は、左右のパラペットとパラペット用ブラケットの共締めした状態を示す横断面図であり、図2(b)は、左右のステージとステージ用ブラケットとの共締めした状態を示す横断面図であり、図2(c)は、側面板とステージ前板とステージ用ブラケットとの共締めした状態を示す横断面図である。

10

【図3】図3(a)は、従来の陳列棚を示す斜視図であり、図3(b)は、ステージ前板とステージ用ブラケットとの取り付け状態を示す横断面図であり、図3(c)は、端部支柱と側面板およびステージ前板、ステージ用ブラケットとの取り付け状態を示す平面図である。

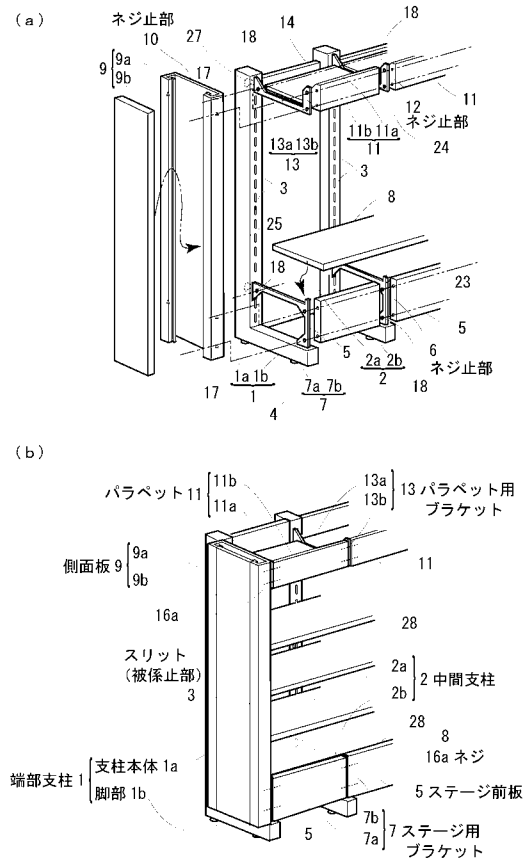
【符号の説明】

【0017】

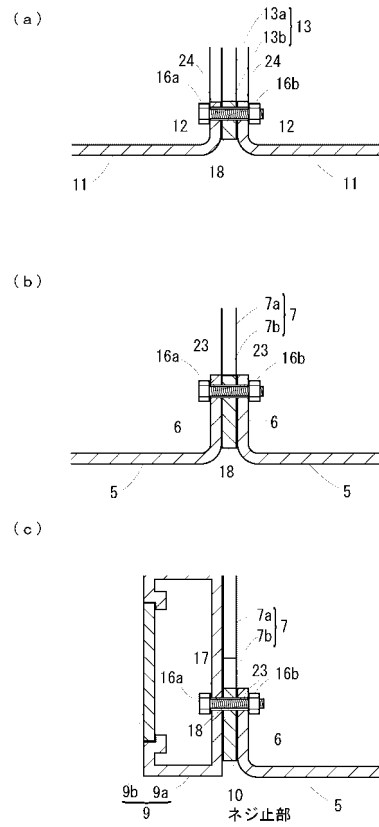
- 1 端部支柱
- 1b 脚部(端部支柱)
- 3 スリット(被係止部)
- 5 ステージ前板
- 6、10、12 ネジ止部
- 7 ステージ用ブラケット
- 9 側面板
- 11 パラペット
- 13 パラペット用ブラケット
- 16a ネジ

20

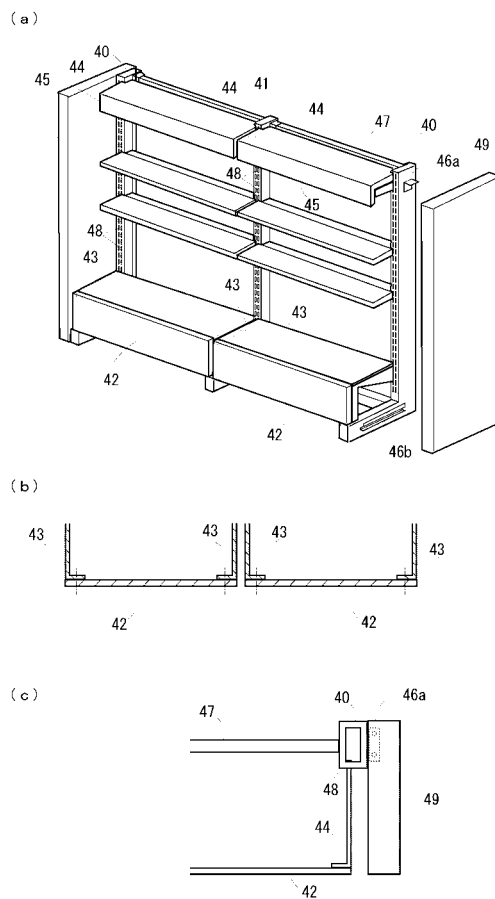
【図 1】



【図 2】



【図 3】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開平10-272022 (JP, A)
実公平7-25087 (JP, Y2)
実公平4-756 (JP, Y2)
実開昭51-70368 (JP, U)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A47F 5/10